



インドネシア・バリ島で開かれた野球教室 (東都大学準硬式野球連盟提供)

インドネシア 響け球音!

日本の大学連盟と政府提携

〔バリ島(インドネシア中部)〕「一言剛之」インドネシアで野球の普及と実力向上を図るため、首都圏の大学35校が加盟する東都大学準硬式野球連盟と、インドネシア青年スポーツ省は26日、提携を結んだ。インドネシアで毎年、親善試合を行うほか、有望な選手を日本の大学の合宿などで受け入れる。

「準硬式」普及へタッグ

準硬式ボールは、硬式球「選手をインドネシアに派遣に近い感覚でプレーできるし、地元チームとの親善試合、水にぬれても傷みにくい利点がある。雨期の長いインドネシアに向いている」として普及を図る。

同連盟は、昨年から選抜

リ島を訪問した。選抜チームの主将を務めた日大4年、中村恰さん(22)は「インドネシアの選手は、日本の技術や練習方法などを吸収するのに熱心で、上達が早い」と印象を語った。

提携書に署名したインドネシア青年スポーツ省のハムカ・ヘンドラ・ノエル補佐官は、「野球を通じた人格形成など、日本の優れたやり方を伝えてほしい」と期待を示した。